

2/11

大安 水

旬のもの 小豆飯(あずきめし)

初午（はつうま）の日に食べます。初午（はつうま）は、陰暦2月の最初の午（うま）の日で京都伏見稲荷神社では初午祭が行われます。初午（はつうま）に、煮小豆とその煮汁をうるち米に合わせて炊き上げた小豆飯を食べる習慣があり、地方によっては油揚げをそえます。江戸時代からの習わしで、色あいから「赤の御饌（みけ）」ともいわれ、初午（はつうま）のほかに月の1日にも食べていました。小豆がタンパク質、カルシウム、ビタミンに富むことから、白米には不足がちな栄養を補完する食べ合わせの意味あいもありました。

建国記念の日

国民の祝日の一つ。建国された日ではなく、建国されたということを記念する日として1966（昭和41）年に制定されました。「建国をしのび、国を愛する心を養う」日とされています。

紀元節

1873(明治5)年から1948(昭和23)年まで祝日とされ、四大節(新年・紀元節・天長節・明治節)の1つとされていました。日本書紀による神武天皇即位の日・紀元前660年1月1日を新暦に換算した2月11日を祝日と決めました。戦後、日本国憲法の精神にそぐわないとして廃止されましたが、昭和42年に「建国記念の日」として復活しました

2/12

赤口 木

旬のもの シラウオ

シラウオ科。体が透明で細長い小型の魚です。シロウオ（ハゼ科）とよく混同されますが、シラウオの頭の先はとがり、シロウオの頭の先はまるみを帯びています。生きている時は透明で、ゆでると白くなるのでシラウオと呼ばれます。プチッとした口当たりに、ほんのりとした甘味と苦味が混ざり合った特有の風味で、春の訪れを感じさせてくれる魚です。

レトルトカレーの日

1968（昭和43）年のこの日に、日本初のレトルトカレーである「ボンカレー」が発表されたことを記念して発売元の大塚食品が制定しました。発表されて40年以上たった今でも多くのカレーファンに愛されています。「ボンカレー」はフランス語の「BON（美味しい）」と英語の「CURRY（カレー）」を組み合わせた言葉です。

ペニシリンの日

1941（昭和16）年のこの日、イギリスのオックスフォード大学付属病院で、世界で初めてペニシリンの臨床実験に成功しました。ペニシリンとは、1929（昭和4）年にアレクサンダー・フレミングが発見した世界初の抗生物質ですが、医療用として実用化されるまでに10年以上の歳月を要しました。